

## 第 10 回日中地域間交流推進セミナー 概要

北京事務所

日中双方からの発表・意見交換を行い、地方政府間による交流促進の契機づくりとするため、2002年度から当協会北京事務所が主催してきた「日中地域間交流推進セミナー」が、今年で第10回の節目を迎えました。今回は8月25日（木）、中国西南地域最大の商工業都市であり、長江上流域における経済の中心である重慶市において、「経済交流を通じた地域発展の展望」をテーマに開催しました。

本セミナーには、日本側から広島県訪問団や在中国自治体事務所関係者等、また中国側からは重慶市人民政府関係者をはじめとする地方政府関係者等、合わせて総勢170名を超える方々に参加いただきました。

会の冒頭、木村陽子当協会理事長、陳曦（ちんぎ）中華人民共和国外交部外事管理司副司長、瀬野清水（せのきよみ）在重慶日本国総領事が開会の挨拶を行い、続いて黄奇帆（こうきはん）重慶市人民政府市長にご挨拶と基調講演をいただきました。

その後、午前の第1部では湯崎英彦（ゆざきひでひこ）広島県知事より基調講演をいただき、続いて塚田桂祐（つかだけいすけ）新潟市副市長、箱崎大（はこざきだい）日本貿易振興機構(JETRO)北京センター副所長、曾国平（そうこくへい）重慶大学教授・博士指導教官からそれぞれご講演いただきました。

午後の第2部では、田中敦仁当事務所長のコーディネートにより、荒田忠幸（あらただただゆき）当協会経済交流課長、本永哲（もとながさとし）沖縄県上海事務所長、史明強（しめいきょう）大連市花園口経済区管理委員会副主任、國分健児（こくぶんけんじ）福島県上海事務所長、米斌（べいひん）義烏（ぎう）市共産党委員会常務委員・副市長の5名によるパネルディスカッションを行いました。

今後もこのような機会を通じて、日中双方の地域間交流を促進してまいります。

\*詳細については、自治体国際化フォーラム12月号でお届けいたします。



(木村当協会理事長開会挨拶)



(日中双方からの参加者)



(パネルディスカッション)



(会場からの活発な意見)

(杉山次長 兵庫県派遣)

